

学校教育目標

夢・命・絆

夢 に向かっていく生徒
命 を大切に作る生徒
絆 を互いに深め合う生徒



須和田が丘

令和3年度
学校だより No. 18
令和3年 10月 7日

市川市立第二中学校
校長 石田 清彦

ホームページ <http://www.dai2-tyu.ichikawa-school.ed.jp/>

緊急事態宣言解除後の学校対応について

9月末をもって緊急事態宣言が解除され、10月からは「新たな学校生活スタイルガイドライン」に沿って教育活動を進めておりますが、10月15日（金）までは、以下の活動が制限されており、段階的に緩和していくこととなっています。

- 音楽のリコーダー（鍵盤ハーモニカ）は休止
- 部活動の対外試合は遠征範囲を制限（市川市と隣接している市など）

（1）生徒に感染が確認された場合の対応の変更について

生徒の感染が確認された場合には、学校内での感染拡大状況等を把握するため、教育委員会の決定のもと、1～3日程度の学級閉鎖を行い、濃厚接触者の候補及び検査が必要となる者の候補となった生徒に抗原検査キットを配付して、検査の協力をお願いしてまいりました。

しかし10月からは、教育委員会からの通知により、以下のように変更となります。

- 学校内での感染拡大状況等を把握するための臨時休業は、「原則、感染者の最終登校日の翌日から3日間」とします。
- 抗原検査キットの配付は行わないこととします。

（2）学校行事について

①合唱コンクール

合唱については、これまで緊急事態宣言が発出されていたため、音楽での活動を休止しておりました。しかし宣言の解除を受けて、今後はマスク着用の上、周囲の生徒との距離をしっかりとって、行うことができます。

校内合唱コンクールについては、これまで練習ができなかったことから、年度当初にお配りした年間行事予定の10月22日での開催は難しい状況です。このため、現在、延期をして実施する方向で検討を進めています。具体的なことが決まりましたら、お知らせいたします。

②校外学習

来週12日（火）に計画しております3学年の修学旅行は予定通り実施いたします。また、11月に予定しております2学年の校外学習についても、現在、実施の方向で準備を進めています。

（3）感染拡大防止対策の味方

緊急事態宣言は解除されましたが、学校では引き続き感染防止対策に取り組み、教育活動の維持・充実に努めることとしています。

特に換気は重要であることから、学校だより No.13 でお知らせしました通り、CO2モニターを設置して二酸化炭素濃度を計測し、換気の指標としています。実際に窓を閉めた教室では、二酸化炭素濃度が上昇し、換気のタイミングを知らせてくれています。

また、新たに自立式の非接触体温計を購入し、各学年の昇降口に配置しています。これまでも各ご家庭では、毎朝の検温と健康状態の把握、「健康観察カード」の提出にご協力いただいているところですが、登校前の検温を忘れた場合や、来校者への対応等を想定して設置したものです。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策は、これまで通り、マスクの着用や手洗い・手指消毒の徹底、身体的距離の確保などですが、それらを助ける心強い味方として活用しています。

